

PET/CT検診のご案内

日本人の **2人** に **1人** が癌に・・・

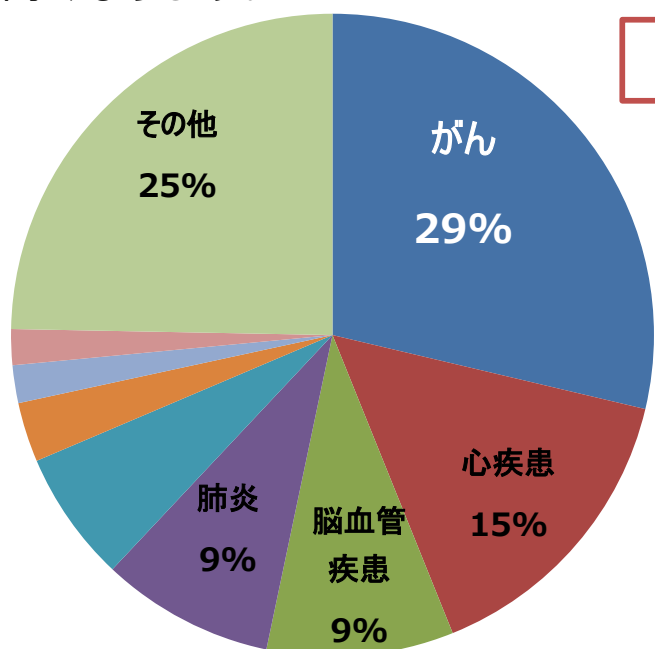


PETがん検診で
早期発見・早期治療

※健康保険の対象外ですので
全額実費扱いとなります

がんの早期発見のメリット

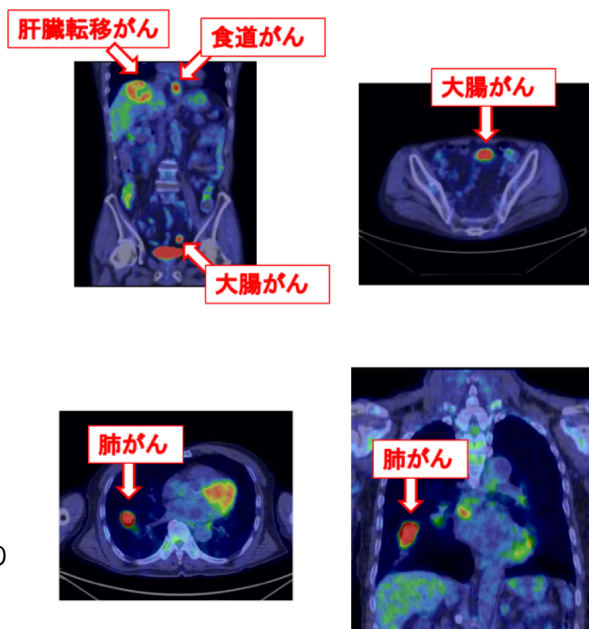
がんは日本人の死因第1位であり、2人に1人はかかるといわれています。
5mm以下のがんは成長速度が緩やかで、早めに発見できれば治る確率が非常に高くなります。



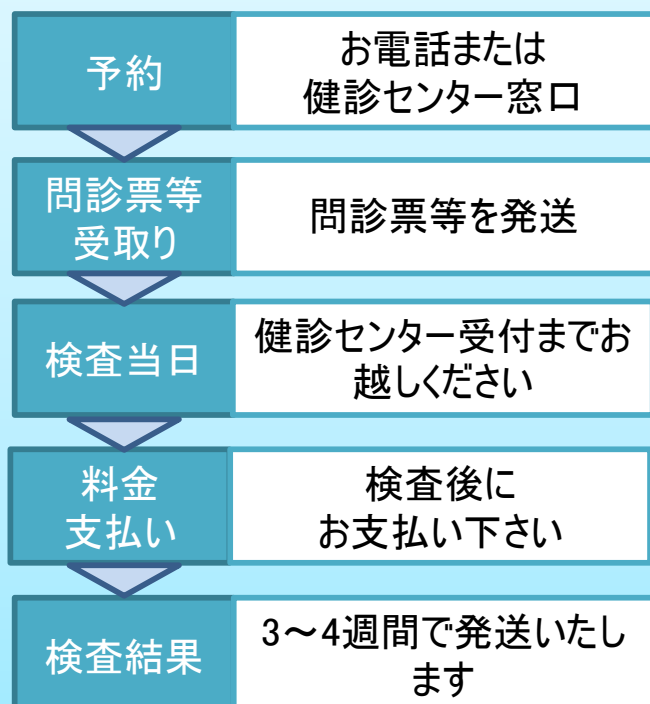
平成27年人口動態統計より

日本人の死亡原因

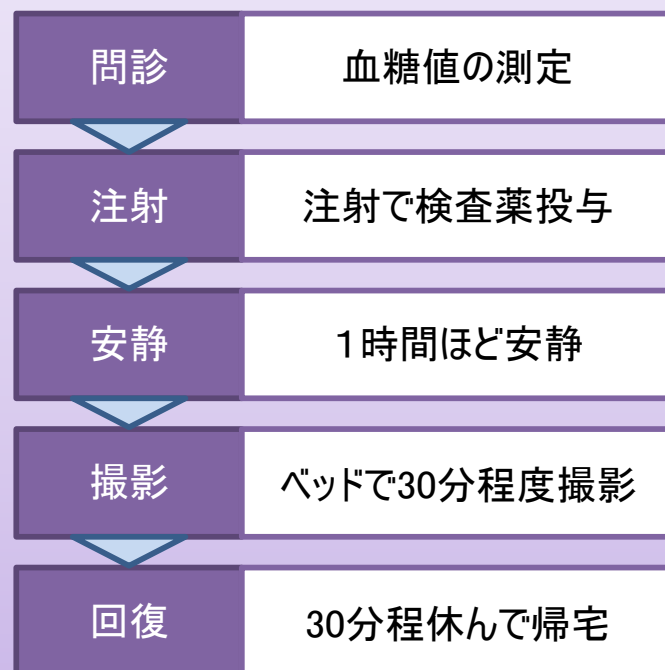
PETでは、このように見えます



PET/CT検診予約の流れ



PET/CT検査の流れ



Q&A

Q：痛みを伴いますか？

A:薬剤を投与する際に注射の痛みはあります。
検査中は横になっているだけで終わります。

Q:時間はどのくらいかかりますか？

A:検査室に入室してから退出まで2時間程かかります。撮影時間は30分程度です。

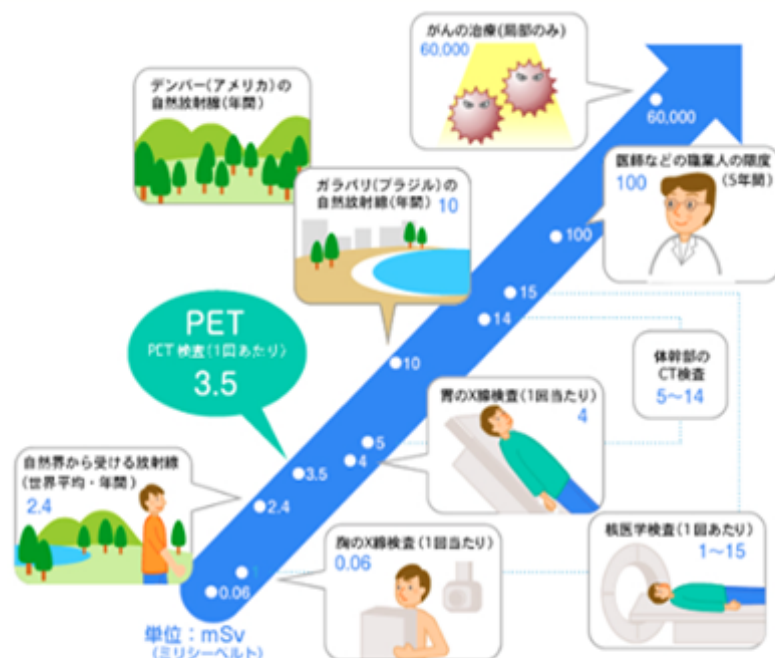
Q:がんの早期発見に期待できますか？

A:一度の撮影でほぼ全身を見れるため、**早期発見に役立つと期待されています。**
ただし、微小ながんや、臓器や部位によっては発見しにくいがんがあることもご了承ください。

Q:誰でも受けられますか？

A:糖尿病の方、妊娠中の方・妊娠の可能性のある方・授乳中の方、閉所恐怖症の方はお受けできません。**その他疾患等で受診できない場合もありますのでご予約前にお問合せください。**

被曝について



放射線を放出する薬剤を使用するため、わずかな放射線被ばくがあります。1回のPET-CT検査で受ける被ばく線量は、PETで3.5mSv（胃のバリウム検査と同等）、CTで10mSv、あわせて約13.5mSvの線量です。この線量で放射線障害がおこることはありません。

検査が終了しても、体内から微量の放射線が放出されています。この放射線が完全になくなるまでに24時間程度かかります。検査当日は人ごみなどへの外出はお控えください。また、乳幼児への緊密な接触もお控えください。

検査を受けるにあたっての注意事項

食事の制限	検査前4時間は食事を摂らないでください。糖分を含む飲み物、アメやガムなども摂らないように注意してください。ただし、水・お茶など糖分を含まない飲み物は普段どおり摂ってください。	
運動の制限	検査前日から激しい運動や肉体労働はさけてください。また注射後の安静時に携帯電話・スマートフォンの使用、本を読んだり会話をしたりすることはお控えください。	
糖尿病治療中の方	当日検査前に、インスリン注射および糖尿病経口薬を摂ることができません。検査当日、薬剤の中止が難しい場合は、必ず主治医とご相談ください。	
他の検査について	PET-CT 検査を受ける1週間前から、マンモグラフィー(乳腺X線検査)、胃や大腸などの内視鏡検査やバリウム検査は行わないでください。	
その他	寒い季節は、病院まで暖かい服装でおこしください。	

使用期限が短い（約2時間）特殊な薬剤を使用します。原則、当日のキャンセルや検査時間の変更はできませんので時間厳守で来院していただきます。

実 施 日

金曜日（祝祭日を除く）

受 付 時 間

①午前10:00～／②午前10:30～

検査終了時間

①午後 2:00頃／②午後 2:30頃

検 診 内 容

診察、問診、身体測定、血圧測定、血糖測定、
腫瘍マーカー検査、PET/CT

※腫瘍マーカー

男性（CEA、AFP、proGRP、シフラ、CA19-9、PSA）

女性（CEA、AFP、proGRP、シフラ、CA19-9、CA125）

料 金

90,000円（税抜）

お 問 合 せ

中濃厚生病院 地域保健課/健診センター
窓口または電話(0575)21-2135(直通)